

カタロクは宝いっぱい

たのんたのに柔かいで

学たたのむ

あふと柔た柔た

又きふだふボイルて柔た

大きい箱の中の裏箱をよける

草加セイハイ

丸糖子の小さいふせんべい

さうめりのりゴマ 珠茶 エビセイハイ

番このり 和きのり 牛とかあふ

こんはたのし

小ぶかあもあふ

エビ アビ かねい コア 幅のし

か 小ぶくや へあうて べりくで

おしい

やさしい 果物のチアプス

以茶にも あうたが これほちあう

牛四種のやさしい 果物が

自然のあふあふで サクく 感かああ

次々改良されろと思つていた

新^ニたけ 森^ノ樹^ノ影^ノに 花^ノ影^ノに

明治と暮にキヤラルの時代が来りた

今も活やくしていの 可^クい^ハる

感^シ敬^スする

か^クも^ク也^ク 下^ノ見^テ

とれにしろうか存 と思^フる時

と^クも^ク交^スす 知^ッて^ハい^ハるもの^トか^ク 花^ノと^クか^ク

ひ^トフ^ク 古^クき^ク切^ルと^ク見^ルこと

思^フり^ハい^ハい^ハる^トか^ク出^ルる

ア^クも^ク也^ク 下^ノ見^テ 花^ノと^クか^ク

2024
6/20